

普及啓発活動の状況

潜在的利用者を含めた研究者・技術者に研究成果や利用事例を発信するとともに、利用者との意見交換や利用者相互の交流を通じて、放射光利用研究への理解を深め、利用の促進に努めている。

実地研修会 (SPring-8において実施)

未経験者や、経験が浅いユーザーに対して、最先端放射光利用の実体験(実験機器基本操作、実験基本手順等)を通じ、技術の習得を図り、利用の促進を図る。

講習会 (大阪・東京・名古屋等都市部で実施)

豊富な利用経験をもつ専門家による講演により、SPring-8の最新の放射光利用研究成果の紹介や、データ解析実習等を通じて放射光利用の有用性を浸透させる。

SPring-8夏の学校

学部、大学院修士課程の学生を対象に、次世代の放射光利用研究者の発掘と育成を目的に、講義とビームライン実習を実施。



SPring-8シンポジウム

SPring-8の利活用や発展のため、SPring-8ユーザー協同体(SPRUC)と連携・協力し、様々な分野にわたるユーザー間の科学技術的交流とともに、施設側との意見交換・情報共有を実施。

産業利用報告会

専用ビームラインの運営組織や、SPring-8利用推進協議会等と協力して、SPring-8における広汎な産業利用成果を発表。産業界における放射光の有効性を多くの研究者等に周知・啓発するとともに、産業界ユーザー間の相互交流や、SPring-8スタッフとの連携強化を図る。



コンサルティング・技術支援の実施

コーディネーターによる各種相談や、支援要員による技術指導、実験サポート、共同実験など、入口から出口までの手厚い支援を実施。

重点課題説明会の開催

重点領域に指定した「重点グリーン/ライフ領域」の周知、普及のため、全国の大学で説明会を行うとともに、関連学会等でのフライヤーを配付。

社会還元について(製品化事例)



素材から生活必需品に至るまで幅広い製品化にSPring-8が貢献